

塩崎厚生労働大臣に直談判！

子育て支援や介護環境の整備を！

成長と分配の好循環を継続していくために

第1の矢 「希望を生み出す強い経済」

- ①医療分野のノベーション・ICT化の推進
- ②医療の国際展開・国際保健への貢献
- ③観光先進国の実現・TPPの推進

第2の矢 「夢をつむぐ子育て支援」

- ①待機児童の解消
- ②女性・若者の活躍推進
- ③総合的子育て支援の推進

第3の矢 「安心につながる社会保障」

- ①介護の環境整備
- ②障害者・難病・がん患者等の活躍支援
- ③地域共生社会の実現

働き方改革+生産性向上

- ①非正規雇用の待遇改善
- ②最低賃金の引き上げ
- ③長時間労働の是正
- ④高齢者・障害者等の活躍促進

成長と分配の継続

7月21日～25日 国後島、色丹島にて

▲色丹島の風景
▼色丹島穴瀬島にて
▲国後島の風景
▲国後島住民のみなさんと

たばたのひとこと

今夏の参議院選挙において自民党は選挙区37議席、比例区19議席、合計56議席を獲得。改選前とあわせて121議席となりました。安定した政治基盤に基づき、私自身、地方創生、働き方改革、社会保障制度づくりに引き続き取り組んで参ります。

たばた 裕明

衆議院議員 田畠 裕明

国会等での所属

・厚生労働委員会委員
・決算行政監視委員会委員
・消費者問題に関する特別委員会委員
・自民党厚生労働部会副部会長
・自民党厚生関係団体委員会副委員長
・自民党外交部副部会長
・自民党雇用問題調査会幹事
・自民党テレワーク推進特命委員会幹事
・自民党青年局学生部長

ひびき新聞

たばた 裕明

衆議院議員
自民党員

ひびき新聞

富山

▶平成28年富山市消防出初式にて
◀第12回富山市民体育大会相撲競技
▲四方赤十字奉仕団のみなさんと
▲各後援会で国政報告会を開催
▼盆踊りも楽しめました
▲第71回国民体育大会 岩手スキー国体 富山県選手団を激励
▲青年海外協力隊経験者の皆さんと意見交換
▲えだまめ収穫をお手伝い

富山

▶平成28年富山市消防出初式にて
◀第12回富山市民体育大会相撲競技
▲四方赤十字奉仕団のみなさんと
▲各後援会で国政報告会を開催
▼盆踊りも楽しめました
▲第71回国民体育大会 岩手スキー国体 富山県選手団を激励
▲青年海外協力隊経験者の皆さんと意見交換
▲えだまめ収穫をお手伝い

東京

▶加藤勝信大臣に同一労働同一賃金の考え方に関する要望書を提出
▶第190回通常国会開会
▶東京事務所では様々な皆さんと意見交換や勉強会を実施
▶厚生労働委員会で質問

たばた 裕明

昭和48年1月2日生まれ(43歳)富山市北代在住。富山市立長岡小、吳羽中、県立富山東高校(野球部)卒業、獨協大学経済学部卒業、地元の銀行勤務(平成7~14年)、富山市議会議員連続3期当選(平成15~23年)、富山県議会議員(平成23~24年)、衆議院議員連続2期当選(平成24年~)
【資格等】宅地建物取引士、全日本スキー連盟公認スキー正指導員、富山市消防団長岡分団所属

〒939-8202
富山市西田地方町2丁目12-4 ケイ・ディックビル2階
TEL 076-421-1411 FAX 076-421-1422

〒100-8982
千代田区永田町2丁目1-2 衆議院第二議員会館 214号室
TEL 03-3508-7704 FAX 03-3508-3454

候補者名	党派	得票数	得票率
たばた 裕明	自 民	70,085	57.44%
吉田 豊史氏	維 新	39,249	32.17%
高橋 わたる氏	共 産	9,795	8.02%

有権者数 262,477人 投票者数 147,772人 投票率 55.15%

候補者名	党派	得票数	得票率
たばた 裕明	自 民	70,268	47.55%
村井 宗明氏	民 主	43,072	29.14%
吉田 豊史氏	無所属	24,370	21.24%
山田 哲男氏	共 産	7,023	4.75%

有権者数 262,560人 投票者数 122,009人 投票率 54.63%

参院選野上浩太郎氏二回目の当選に貢献！

去る平成28年7月10日に行われた参議院選挙富山県選挙区において、野上浩太郎参議院議員が見事3回目の当選を果たした。田畠は、富山第一選挙区の総括責任者として富山市内での野上議員の選挙戦を牽引した。連日街頭演説や関連会議を主導し、議員や後援会役員、運動員らと総力を結集した結果33万9,055票の得票で他候補に圧倒的な差をつけたのである。

▲野上先生の激励に駆け抜けました

▲平成28年7月10日に行われた参議院選挙富山県選挙区において、野上浩太郎参議院議員が見事3回目の当選を果たした。田畠は、富山第一選挙区の総括責任者として富山市内での野上議員の選挙戦を牽引した。連日街頭演説や関連会議を主導し、議員や後援会役員、運動員らと総力を結集した結果33万9,055票の得票で他候補に圧倒的な差をつけたのである。

▲四方赤十字奉仕団のみなさんと
▲各後援会で国政報告会を開催
▼盆踊りも楽しめました
▲第71回国民体育大会 岩手スキー国体 富山県選手団を激励
▲青年海外協力隊経験者の皆さんと意見交換
▲えだまめ収穫をお手伝い

東京

▶加藤勝信大臣に同一労働同一賃金の考え方に関する要望書を提出
▶第190回通常国会開会
▶東京事務所では様々な皆さんと意見交換や勉強会を実施
▶厚生労働委員会で質問

たばた 裕明

昭和48年1月2日生まれ(43歳)富山市北代在住。富山市立長岡小、吳羽中、県立富山東高校(野球部)卒業、獨協大学経済学部卒業、地元の銀行勤務(平成7~14年)、富山市議会議員連続3期当選(平成15~23年)、富山県議会議員(平成23~24年)、衆議院議員連続2期当選(平成24年~)
【資格等】宅地建物取引士、全日本スキー連盟公認スキー正指導員、富山市消防団長岡分団所属

〒939-8202
富山市西田地方町2丁目12-4 ケイ・ディックビル2階
TEL 076-421-1411 FAX 076-421-1422

〒100-8982
千代田区永田町2丁目1-2 衆議院第二議員会館 214号室
TEL 03-3508-7704 FAX 03-3508-3454

候補者名	党派	得票数	得票率
たばた 裕明	自 民	70,268	47.55%
村井 宗明氏	民 主	43,072	29.14%
吉田 豊史氏	無所属	24,370	21.24%
山田 哲男氏	共 産	7,023	4.75%

有権者数 262,560人 投票者数 122,009人 投票率 54.63%



▲多くの方々と働き方について意見交換会を実施

▲「未来へのチカラ vol.1」衆議院議員環境委員長 赤澤亮正先生を講師に迎えて

女性が活躍しやすい社会のための政策づくりに取り組んでいる田畠。定期的に小規模な人數でじっくり語り合う「輝く女性の会」を開催しているが、6月には衆議院環境委員長（当時）、赤澤亮正代議士（鳥取2区選出）を講師に迎えて勉強会を開催した。

田畠からは、「共働き家庭が多い富山県。女性の就労環境の改善や向上には、社会全体の理解をもつと深めの施策や、男女の賃金格差の是正、具体的な福利厚生施策の必要性」を指摘。

また、「結婚・妊娠・出産子育ての各ステージにおいて切れ目のない支援策の展開が必要であり、国において積極的に提言していく」と意欲を示した。

労働人口が減少に向かう中、女性が働き続ける環境を整えることは、地方に

働き方改革

**未来へのチカラ vol.1
輝く社会を目指して、
を開催**



▲テレワーク特命委員長の提言を高市早苗総務大臣へ手渡す

4月28日、平成25年から委員となっているテレワーク推進特命委員会に出席し、提言とりまとめの最終確認を行った。情報通信技術を活用し、場所や時間にとらわれず働くテレワークは、ワーク・ライフ・バランスの実現や地域活性化の推進にも効果が期待されている。5月16日には和歌山県のITビジネスオフィスを視察するなど、精力的な活動を行った田畠。町民や議会の理解浸透率など多様な働き方を導入している現

2020年以降の 経済財政構想小委員会



▲2020年以降の経済財政構想小委員会設立総会。小泉進次郎事務局長の趣旨説明

国民を支えることのできる社会システム構築を

次世紀に向けた責任ある経済財政運営をもつて、その時代を担う世代が活躍できる環境を創り上げるために、現在、どうすべきかを検討する「2020年以降の経済財政構想小委員会」が30歳代、40歳代の若手議員20名によって、党内に設置され、田畠はメンバーに選ばれ、今春以降、精力的に議論を進めている。

「人生100年時代」を見据え、長生きがリスクではない、安心して未来に進んでいくける社会の実現を目指し、自助を基本に、共助・公助を適切に組み合わせた持続可能な安心の基盤を再構築していく必要があるとの認識のもと、議論し、中間とりまとめに至っている。今後、社会保障を含め最適を設けることなく、最終取りまとめに向けて、今秋から議論を加速させたい。

出典「独立行政法人医薬品医療機器総合機構 web サイト <https://www.pmda.go.jp/about-pmda/outline/0001.html>」

未来への一歩



▶医薬品医療機器総合機構（PMDA）北陸支部開所式に出席。石井隆一富山県知事と

PMDA北陸支部 始動!!



「薬都富山」を発信する 新たな拠点の誕生

独立行政法人の医薬品医療機器総合機構（PMDA）が富山県くすり政策課内に北陸支部を設置した。平成28年6月9日、富山市の県民開館にて開所式が行われ、田畠裕明は出席者約50人とともに、「薬都富山」の新たな拠点の誕生を祝った。PMDAの近藤達也理事長、石井隆一富山県知事のあいさつのち、田畠も祝辞述べた。

同支部には「アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター」研修所

レーニングセンター研修所」が行う、GMP調査に関する研修を実施するための研修所を設置。主な研修メニューとして、

国内研修では医薬品・医療機器の審査、安

全対策、GMP（適正製造基準）調査に關

する業務、海外研修では、審査、安全対策

研修は5日間の日程で参加者は20人ほどを見込み、県内の医薬品工場の視察などを予定

している。

誘致に向けて光った 党のチームプレー

今回のPMDAの一部機能の誘致には、これまで田畠は実現を強く希望し、熱意を持つて働き掛けを行ってきた。

平成27年11月には宮腰光寛自民党県連会

長・橋慶一郎衆院議員（現・復興副大臣）、

野上浩太郎参院議員（現・内閣官房副長官）

らとともに、厚生労働省の二川一男事務次

務官と懇談し実現を強く要望。富山県以外に

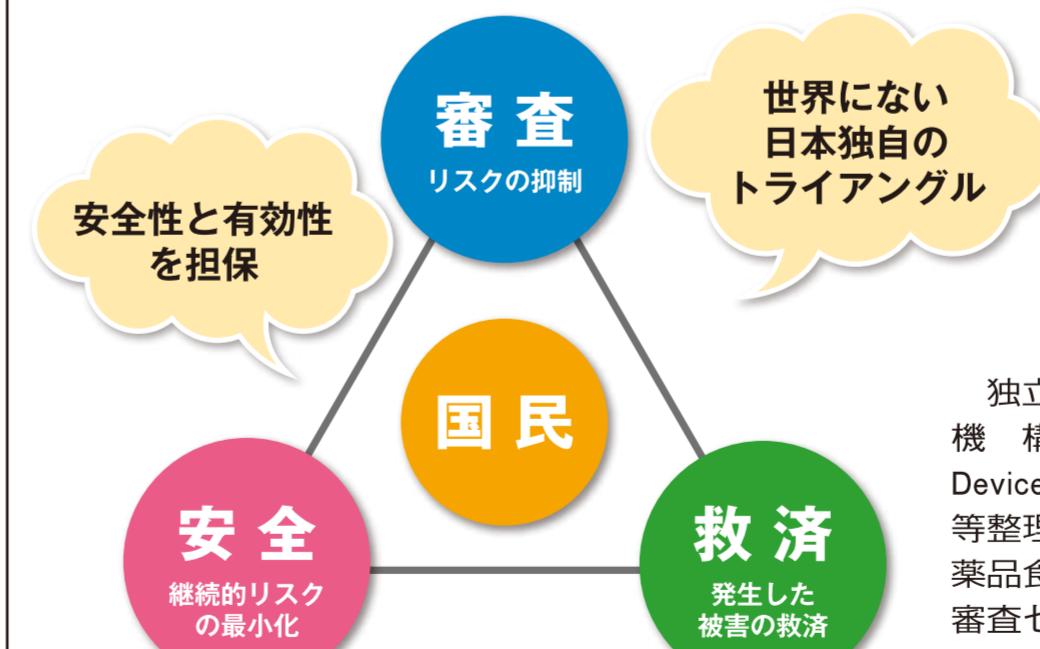
も5カ所からの要望があったが、田畠らの

尽力が実り富山県が見事選ばれた。

PMDAとは？

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（Pharmaceuticals and Medical Devices Agency の略称）は、特殊法人等整理合理化計画を受けて、国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター、医薬品副作用被害救済・研究振興調査機構及び財団法人医療機器センターの一部の業務を統合し平成16年4月1日に設立。医薬品の副作用や生物由来製品を介した

感染等による健康被害に対して、迅速な救済を図り（健康被害救済）、医薬品や医療機器などの品質、有効性および安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査し（承認審査）、市販後における安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う（安全対策）ことを通じて、国民保健の向上に貢献することを目的としている。



PMDA北陸支部の設置を実現しました！